

地域創造学科オリエンテーション (1年生)



【経済学部 地域創造学科】

学期・授業時限

<学期>

- ・学期は前期(4月～9月)と後期(9月～翌年3月)の2期制
- ・授業は基本的に5時限まで(6時限は補講時限)

<時間帯>

1時限	2時限	3時限	4時限	5時限	補講時限 (6時限)
9:00～10:30	10:45～12:15	13:05～14:35	14:50～16:20	16:35～18:05	18:20～19:50

用語集

※履修区分ごとに最低限修得しなければならない単位数が決まっている。
たとえば、「教養教育科目」は領域ごとに2単位以上、「言語・異文化理解科目」は計8単位以上など

<履修とは・・・>

受講希望科目を登録し、授業を受け成績評価を得ること

用語	説明
必修科目	必ず履修する授業科目で、単位を修得しなければ卒業ができない。
選択必修科目	いくつかの選択授業の中から、最低限修得しなければならない単位が決められているもの。
選択科目	自分で選んで履修を決められる。

受講(出席・欠席)

- (1) 各学期の授業は、成績評価を含め15回実施
- (2) 単位認定には、「3分の2以上出席」が必要
- (3) 授業を欠席する場合は、手続きが必要

成績評価

合否	評価基準	評価表示
合格 (単位修得)	100～90点	秀
	89～80点	優
	79～70点	良
	69～60点	可
不合格	59～1点	不可
	0点	不可×
	失格 (授業出席日数不足など)	失格

履修登録

<注意事項>

- ①履修登録をしないと授業に出席していても単位修得は認められません。
- ②履修登録期間に登録しないと履修は認められません。
- ③各学年次に履修できる単位数の上限は、次の通りです。

<履修できる単位数の上限>

学年	1年次	2年次	3年次	4年次
単位数	46	46	48	48

※各学年次の各学期の履修できる単位数は、4年次生を除き、上記の単位数の半数を原則とし、30単位を超えることはできない。

履修計画

<卒業単位数>

卒業に必要な単位数(要卒単位数)は**124単位**

履修区分	要卒単位数
総合共通科目	30単位 * 1
専門教育科目	76単位 * 1
自由選択科目	18単位

*** 1 要卒単位数を超えて修得した単位は、自由選択科目区分に算入される。**

専門教育科目

履修区分	最低修得単位数		要卒単位数
①コア科目群	必修6単位	<u>12単位以上</u>	<u>76単位</u>
②地域創造基礎科目群	必修16単位	<u>26単位以上</u>	
③コース科目群		<u>18単位以上</u>	
④実践科目群	必修4単位	<u>4単位以上</u>	
⑤ゼミナール科目群	<u>必修16単位</u>		

①コア科目群

経済と経営の基礎を学ぶコア科目は、必修7科目(計14単位)を配置。

これらの科目は職業人として身につけておくべき**経済および経営の知識のコア(核)**となる重要な科目。

コア科目群のうち、**必修6単位**、**選択必修6単位**の計12単位を修得しなければならない。

区分	授業科目	授業形態	単位数		毎週授業時間数								摘要
					1年		2年		3年		4年		
			必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
コア科目群	経営学概論	講義	2		2								※4科目中3科目を選択必修とする
	経済学概論	講義	2			2							
	統計学入門	講義	2				2						
	統計学	講義		2				2					
	マクロ経済学	講義		2				2					
	ミクロ経済学	講義		2				2					
	日本経済史	講義		2				2					

②地域創造基礎科目群

地域創造の基礎を学ぶ地域創造基礎科目群。

地域創造基礎科目群のうち、必修16単位、選択必修10単位の計26単位を修得する必要があります。

区分	授業科目	授業形態	単位数		毎週授業時間数								摘要
					1年		2年		3年		4年		
			必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
地域創造基礎科目群	KKU北九州学	講義	2		2								※9科目中5科目を選択必修とする
	簿記入門	講義	2		2								
	簿記入門演習	演習	2		2								
	初級簿記	講義	2			2							
	初級簿記演習	演習	2			2							
	地域貢献概論	講義	2			2							
	地域のまちづくり入門	講義	2				2						
	民法	講義	2				2						
	人口学	講義		2			2						
	社会調査法	講義		2			2						
	ビジネスとICT	講義		2				2					
	社会調査法演習	演習		2				2					
	おもてなし総論	講義		2					2				
	地域経済論	講義		2					2				
	質的調査法	講義		2					2				
	地域協働論	講義		2						2			
	ソーシャルビジネス論	講義		2						2			

④実践科目群

理論と実践の往還・融合による効果的な学習を進めるため、実践科目群には、必修科目として地域の自治体、企業、福祉施設、ボランティア団体等と連携したアクティブラーニング型の科目などを配置します。実践科目群のうち、必修4単位を修得する必要があります。

区分	授業科目	授業形態	単位数		毎週授業時間数								摘要
					1年		2年		3年		4年		
			必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
実践科目群	地域創造実習Ⅰ	実習	1		2								
	地域創造実習Ⅱ	実習	1			2							
	地域創造実習Ⅲ	実習	1				2						
	地域創造実習Ⅳ	実習	1					2					
	地域創造実習Ⅴ	実習		1					2				
	地域創造実習Ⅵ	実習		1						2			
	地域調査実習Ⅰ	実習		1							2		
	地域調査実習Ⅱ	実習		1								2	
	地域ワークショップ	演習		2					*(集中)				
	職業研修A	実習		2					*(集中)				
	職業研修B	実習		2					*(集中)				

⑤ゼミナール科目群

4年間の一貫したゼミナール科目7科目(計16単位)を必修科目として配置します。
ゼミナール科目群のうち、**必修16単位**を修得する必要があります。

区分	授業科目	授業形態	単位数		毎週授業時間数								摘要
					1年		2年		3年		4年		
			必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
ゼミナール科目群	地域創造ゼミナールⅠ	演習	2		2								
	地域創造ゼミナールⅡ	演習	2			2							
	地域創造ゼミナールⅢ	演習	2				2						
	地域創造ゼミナールⅣ	演習	2					2					
	地域創造ゼミナールⅤ	演習	2						2				
	地域創造ゼミナールⅥ	演習	2							2			
	地域創造ゼミナールⅦ	演習	4								2	2	

前期時間割作成



【経済学部 地域創造学科】

時間割を作る際のルール

- ・1年次の履修登録上限：**46**単位
- ・1年次「前期」の履修登録上限：**23**単位(原則)
- ・1年次「後期」の履修登録上限：**23**単位(原則)
- ・半期の履修登録上限：**30**単位(最大)

※履修登録上限に含まれない科目もある。

履修できる単位数には、「海外研修」「単位互換科目」「K-CIP科目」等は含みません。

時間割を作る際の注意点①

- ◆履修登録は、オンライン(PC, スマートフォン等)で行います。
- ◆郵送資料の「令和2年度(前期)履修計画表」を用意して下さい。
- ◆令和4年度の「時間割表」「学生便覧」を確認しながら、
時間割を作りましょう。
- ◆授業内容は、シラバス(講義要領)を見て、確認して下さい。

時間割を作る際の注意点②

		月曜日			
1 限 目					
	科目名				
	担当				
	単位数	教室			

講義コードを必ず書くこと。
授業時間割に書いてあります。

教室番号を必ず確認すること。
授業時間割に書いてあります。

単位数を必ず書くこと。
履修ガイドに書いてあります。

配付されている
授業時間割や
履修ガイドを確認
しながら履修登録
を行うこと。

令和4年度(前期)履修計画表

【地域創造学科1年次】

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	集中講義
1 限目	科目名 担当 先生 単位数 教室	科目名 担当 先生 単位数 教室	科目名 担当 先生 単位数 教室	科目名 担当 先生 単位数 教室	科目名 担当 先生 単位数 教室	集中講義 ・海外研修
2 限目	科目名 担当 先生 単位数 教室	科目名 担当 先生 単位数 教室	科目名 担当 先生 単位数 教室	科目名 担当 先生 単位数 教室	科目名 担当 先生 単位数 教室	
3 限目	科目名 担当 先生 単位数 教室	科目名 担当 先生 単位数 教室	科目名 担当 先生 単位数 教室	科目名 担当 先生 単位数 教室	科目名 担当 先生 単位数 教室	
4 限目	科目名 担当 先生 単位数 教室	科目名 担当 先生 単位数 教室	科目名 担当 先生 単位数 教室	科目名 担当 先生 単位数 教室	科目名 担当 先生 単位数 教室	
5 限目	科目名 担当 先生 単位数 教室	科目名 担当 先生 単位数 教室	科目名 担当 先生 単位数 教室	科目名 担当 先生 単位数 教室	科目名 担当 先生 単位数 教室	
6 限目	科目名 担当 先生 単位数 教室	科目名 担当 先生 単位数 教室	科目名 担当 先生 単位数 教室	科目名 担当 先生 単位数 教室	科目名 担当 先生 単位数 教室	

【クラス指定がある科目】

- (1) 英語 I
- (2) 情報処理演習 I

赤字: 必修科目

□: 総合共通科目

□: K-CIP科目

(1) 英語 I 【必修科目】 月曜2時限

- クラス分け名簿は、4月5日9時にUNIPAおよび学内掲示板にて発表。
- 履修登録は、教務課が4月7日以降に登録するため、各自確認しておくこと。

(2) 情報処理演習 I 【必修科目】

<①②クラス>

➡月曜3時限

<③④クラス>

➡月曜4時限

教養教育科目 (火・木曜日1.2時限、金曜日1時限)

- 教養教育科目が開講される時限

火・木曜日1.2時限、金曜日1時限

- 抽選が行われる。(履修すれば必ず受講できるわけではない)

※「教養教育科目」:UNIPAの抽選希望登録画面から登録

Web履修登録時に第1希望から(最大)第5希望までの登録をし、履修登録で登録科目に偏りがある場合および教室定員を超過する場合に抽選機能により振り分けを実施します。

振り分けの結果、いずれの科目も抽選漏れにより受講できないことがあります。

詳しくは各学科共通のガイダンス資料内容「履修登録方法および受講制限について」を必ず確認。

言語・異文化理解科目（金曜1・2時限）

「言語・異文化理解科目」の単位修得のためにも履修することが望ましい科目。

- ・ドイツ語 I
- ・中国語 I
- ・韓国語 I

なお、新修外国語希望調査の結果は、4月4日の新入生研修で提示されます。

健康教育科目 (水曜3.4時限)

スポーツA(前期履修)

- ⇒「卓球」
- ⇒「バスケットボール」
- ⇒「サッカー」
- ⇒「テニス」
- ⇒「ソフトボール」

スポーツB(後期履修)

- ⇒「バドミントン」
- ⇒「バスケットボール」
- ⇒「サッカー」
- ⇒「テニス」
- ⇒「ソフトボール」

※「スポーツA」: [UNIPAの抽選希望登録画面](#)から登録

Web履修登録時に第1希望から(最大)第5希望までの登録をし、履修登録で登録科目に偏りがある場合および教室定員を超過する場合に抽選機能により振り分けを実施します。振り分けの結果、いずれの科目も抽選漏れにより受講できないことがあります。

K-CIP科目 (K-CIP履修者のみ受講可能)

月曜日 火曜日	4時限 2時限	文章理解 ※
水曜日	4時限 5時限	数的処理 I
木曜日	2時限	社会科学〔基礎〕

※文章理解は、後期に履修も可能

➡ K-CIP科目は自由選択科目としてカウント。

後期時間割作成



【経済学部 地域創造学科】

令和4年度(後期)履修計画表 【地域創造学科1年次】

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	集中講義
1 限目	科目名 経済学概論 担当 甘 先生 単位数 教室	科目名 (3) 担当 先生 単位数 教室	科目名 地域貢献概論 担当 成富 先生 単位数 教室	科目名 担当 先生 単位数 教室	科目名 担当 先生 単位数 教室	・海外研修 ・イングリッシュワークショップ
2 限目	科目名 (1)英語Ⅱ 担当 先生 単位数 教室	科目名 担当 先生 単位数 教室	科目名 職業とコミュニケーション 担当 クラス担任 先生 単位数 教室	科目名 担当 先生 単位数 教室	科目名 担当 先生 単位数 教室	
3 限目	科目名 担当 先生 単位数 教室	科目名 初級簿記 担当 堂野崎 先生 単位数 教室	科目名 (3) 担当 先生 単位数 教室	科目名 地域創造ゼミナールⅡ 担当 堂野崎 先生 単位数 教室	科目名 担当 先生 単位数 教室	
4 限目	科目名 (2) 担当 先生 単位数 教室	科目名 初級簿記演習 担当 堂野崎 先生 単位数 教室	科目名 担当 先生 単位数 教室	科目名 担当 先生 単位数 教室	科目名 地域創造実習Ⅱ 担当 尾上 先生 単位数 教室	
5 限目	科目名 英語Ⅰ<再> 担当 先生 単位数 教室	科目名 担当 先生 単位数 教室	科目名 担当 先生 単位数 教室	科目名 英語Ⅰ<再> 担当 先生 単位数 教室	科目名 担当 先生 単位数 教室	【クラス指定がある科目】 (1)英語Ⅱ (2)情報処理演習Ⅱ (3)日本語表現法Ⅰ
6 限目	科目名 担当 先生 単位数 教室	科目名 担当 先生 単位数 教室	科目名 担当 先生 単位数 教室	科目名 担当 先生 単位数 教室	科目名 担当 先生 単位数 教室	

赤字: 必修科目

 : 総合共通科目

 : K-CIP科目

(1) 英語Ⅱ 【必修科目】 月曜2時限

- クラス分け名簿は、4月5日9時にUNIPAおよび学内掲示板にて発表。前期の「英語Ⅰ」と同じ曜日・時限・教員に指定されます。
- 履修登録は、教務課が4月7日以降に登録するため、各自確認しておくこと。

(2) 情報処理演習Ⅱ 【必修科目】

<①②クラス>

➡月曜4時限

<③④クラス>

➡月曜3時限

(3) 日本語表現法 I 【必修科目】

<①②クラス>

➡火曜1時限(幣)

<③④クラス>

➡水曜3時限(幣)

教養教育科目

(火・木曜日1.2時限)

- 教養教育科目が開講される時限

火・木曜日1.2時限

- 抽選が行われる。

(抽選実施科目なので、履修すれば必ず受講できるわけではない)

※「教養教育科目」: UNIPAの抽選希望登録画面から登録

Web履修登録時に第1希望から(最大)第5希望までの登録をし、履修登録で登録科目に偏りがある場合および教室定員を超過する場合に抽選機能により振り分けを実施します。振り分けの結果、いずれの科目も抽選漏れにより受講できないことがあります。

言語・異文化理解科目 (金曜1～2時限)

前期に各言語の「Ⅰ」を単位修得した人のみ履修可能

ドイツ語Ⅱ	中国語Ⅱ	韓国語Ⅱ
-------	------	------

➡前期と同じ曜日・時限・担当の先生で履修してください。

※前期に各言語の「Ⅰ」を履修せずに、履修を新たに希望する人は、2023年度前期から各言語の「Ⅰ」をまずは履修してください。

健康教育科目 (水曜3.4時限)

スポーツA(前期履修)

- ➡「卓球」
- ➡「バスケットボール」
- ➡「サッカー」
- ➡「テニス」
- ➡「ソフトボール」

スポーツB(後期履修)

- ➡「バドミントン」
- ➡「バスケットボール」
- ➡「サッカー」
- ➡「テニス」
- ➡「ソフトボール」

※「スポーツB」: [UNIPAの抽選希望登録画面](#)から登録

Web履修登録時に第1希望から(最大)第5希望までの登録をし、履修登録で登録科目に偏りがある場合および教室定員を超過する場合に抽選機能により振り分けを実施します。振り分けの結果、いずれの科目も抽選漏れにより受講できないことがあります。

K-CIP科目 (K-CIP履修者のみ受講可能)

火曜日	5時限	文章理解
水曜日	4時限 5時限	数的処理Ⅱ
木曜日	2時限	人文・自然科学〔基礎〕

➡ K-CIP科目は自由選択科目としてカウント。

参考

【経済学部 地域創造学科】

履修相談会

【日時 / 場所】

4月6日(水) 11:00～12:00 / 深耕館3階S313教室

4月6日(水) 15:00～16:00 / 深耕館3階S313教室

※履修に関して不明な点がある場合は、上記で相談に乗るので、参加してください。

K-CIP科目説明会

K-CIPの申込を考えている人は、「K-CIP履修ガイド」・
「K-CIPプログラム開講カリキュラムチェック表」を確認し、
以下の日時・場所で開催されるK-CIP説明会へ参加して下さい。

【日時】 4/5(火)11:30～12:00

【場所】 深耕館1階S101教室

履修登録・修正・削除期間

【履修登録期間】4月4日(月)9:00～6日(水)17:00

履修登録は、学内のPCおよび学外からのオンライン(PC、スマートフォン等)で上記の期間に行います。

【履修修正期間】4月19日(火)9:00～20日(水)16:00(学外)

科目の修正(追加・削除・変更)は、学内のPCおよび学外からのオンライン(PC、スマートフォン等)で上記の期間に行います。

【履修削除期間】5月9日(月)～10日(火)

科目の削除は、学内のPCおよび学外からのオンライン(PC、スマートフォン等)で上記の期間に行います。

※履修しない科目は必ず削除すること。放置すると、GPAに影響を及ぼします。

特に、部活動生や特待生は要注意！